



「ディスカバー農山漁村の宝アワード」応募用紙（団体用）

都道府県名（必須）	〇〇県	市町村名（必須）	〇〇市
団体名（必須）※応募フォームと同一名称で記入してください。	〇〇		
1. 団体の概要（必須） ※設立年、組織、構成員、構成員数、役割分担等の実施体制を記入してください。 設 立 年 平成〇年〇月〇日 構 成 員 代表理事〇名、〇〇理事〇名、理事〇名、監事〇名、事務局長、〇〇トレーナー 〇人 事 業 ①農業分野での障がい者就農への支援活動事業 ②農福連携の推進のための情報発信事業			
2. キャッチフレーズ（必須） ※20 字程度で記入してください。 障がい者とともに〇〇を			
3. 活動のきっかけ（必須） ※4行程度で記入してください。 農福連携を推進する中で、農業経営体からは「本当に〇〇できるの？」「どう〇〇していいかわからない」、また、障がい者からは「農業の経験がないから〇〇」「〇〇的にだいじょうぶかな？」などの声があり、双方がなかなか踏み出せないでいる現状を痛感。双方の〇〇を払しょくするには、両者をマッチングし、就農に向けサポートする人材が必要と考え、〇〇トレーナー養成講座をスタートさせた。			
4. 取組概要（必須） ※1行程度で記入してください。 〇〇トレーナーを養成し、〇〇事業所や農業経営体をサポートすることで、農福連携を推進する。			
5. 取組の具体的内容及び成果(効果)（必須） ※応募フォーム「該当する取組」で選択した項目についての活動内容、時期及びその成果(効果)を 12 行程度で記入してください（地域資源の活用、他地域への影響、多様な関係者との連携、デジタル化・輸出・グリーン化・食料安全保障強化などへの取組内容、情報発信、取組の持続性・継続性、所得・雇用の増大、消費者の視点に立った取組、地域活性化への貢献、地産地消への取組などの観点から記載願います。）。 ①〇〇トレーナーの養成と障がい者の就農支援 農業経営者と就農を希望する障がい者の双方にかかわり障がい者がより働きやすくなるよう支援・指導する「〇〇トレーナー」の養成講座を開催。令和〇年度末で延べ〇〇人を養成。初めて農業に携わる障がい者や施設外就労に初めて取り組む〇〇事業所や農業経営体のサポーターとして、また、農福連携に取り組む事業所や農業経営体及び関係機関等の担当者として活躍している。 ②〇〇学校との連携 ～農業が進路選択の一つに～ 〇〇部の職場体験実習に〇〇トレーナーを派遣し、生徒と農業経営者の双方をサポート。就職後も定着に向け、定期的に支援している。また、県教育委員会及び〇〇学校の協力のもと農業教育プログラムを作成。令和〇年度は、〇〇教育部門の〇〇学校〇校すべてが、作業学習等における農業実習実践校として、農業に取り組み、農業経営体を進路先として選択する生徒も育ってきている。 ③農福連携マルシェの開催・商品開発・販路拡大の取り組み 新型コロナウイルス感染症の影響で地域の催しが中止、事業所で収入が減少しているが、近隣のマーケット等との連携で、小規模のマルシェを開催。また、生産物の加工品の開発や、売れる作物の栽培支援も行っている。 ④JA〇〇会と連携し、施設外就労のマッチングに取り組み、新たに農業に参入する福祉事業所を支援			

6. 活動実績(必須) ※「項目」は、具体的な活動内容(来訪者、売上等)ごとに記入してください。							
項 目	単位	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度 (見込み)
〇〇トレーナー取得人数	人	10	15	20	30	50	70
	解説: 〇〇トレーナー養成講座修了者数						
〇〇事業所の農業 参入実績	カ所	20	31	33	35	36	37
	解説: 農業算入している福祉事業所の延べ数						
農業経営体における 雇用実績	カ所	10	12	13	14	15	17
	解説: 障がい者を雇用している農業経営体の延べ数						
障がい者就農人数	人	100	150	155	161	166	180
	解説:						

※R2年度、R3年度及びR4年度について、実績値が新型コロナウイルス感染症を原因とした減少である場合は、その実績値に「※」を記入してください。また、新型コロナウイルス感染症関連で実績に影響がある場合は、「5. 取組の具体的内容及び成果(効果)」に影響を踏まえた対応や工夫を記入してください。

7. 活動の主な変遷(必須) ※活動の主な変遷について記入してください。						
初年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度 (見込み)
平成〇年〇月 〇日設立	農福連携マル シェ開催	〇〇学校との 連携開始	施設外就労へ の支援開始	新作物の作付 指導支援開始	新商品開発 の支援開始	

8. 今後の展開方向(必須) ※4行程度で記入してください。 ※期待できる地域等への波及効果や取組を持続していくための方策などがあれば併せて記入してください。						
新型コロナウイルス感染症拡大防止から、オンラインでの〇〇トレーナー養成講座を開催している。高校生や新規就農者、農福連携への参入を検討している事業所の職員など予想以上の参加があり、農福連携のすそ野を広げていくため、オンライン研修の充実を図っていく。 また、〇〇サイドのニーズを適切に把握しサポートするには、それぞれの地域ごとのワンストップ窓口が必要であることから、市町と連携し、地域拠点を創っていく。						

9. 活動状況がわかる写真、効果を示す図表(必須) ※活動を代表する写真を3枚以上添付してください。 ※写真・図表の説明を20字程度で記入してください。 ※第三者の肖像権、著作権、プライバシー等を侵害することのないよう十分に御注意ください。 ※写真等を貼り付ける際は圧縮するなどして、Wordのファイルサイズが5MB以下となるようにしてください。	
写真・図表等	写真・図表等
()	()

写真・図表等	写真・図表等
()	()
写真・図表等	写真・図表等
()	()

10. 表彰等の受賞歴(該当あれば)	
表彰名等(受賞年度)	主催者
令和〇年度ディスカバー農山漁村の宝〇〇局選定	農林水産省

11. 活動に関するPR・エピソード (自由記入、写真等添付可) ※応募用紙が3ページを超えないようにしてください。		
県立〇〇学校〇〇校のすべての学校(〇校)で農業実習に取り組んでいます！ 平成〇年度より、生徒たちが、農業分野への就労を進路選択の一つとして考えることができるよう〇〇県教育委員会と連携し、〇〇トレーナーの派遣や〇〇学校における農業実習プログラムの作成に取り組み、令和〇年度は、当〇〇会が、畑の整備や作業道具・肥料・苗等の購入を支援したことで、各校で工夫を凝らした取り組みが行われています。		
写真1	写真2	写真3
〇〇の整枝(獣害対策も) 収穫した野菜を校内で販売してます ハウスが出来1年中作業ができます		

12. 応募いただいた連絡先に、今後、農水省より各種施策等に関する情報をお知らせする場合があります。希望する場合は右の□に✓をご記入ください。	情報を希望する ☐
--	-------------------------------------

- 【注意事項】
- ① 記入欄に指定された文字数を目安としてください。これより少なくても結構です(フォントはM S P明朝、大きさは10で変えないでください)。
 - ② この選定は、農林水産行政施策の推進として、選定された取組内容を全国へ発信することが目的であることから、応募用紙に掲載いただいた内容及び写真については、農林水産省が行う広報活動、地方公共団体への情報提供等(農林水産省ホームページへの掲載、選定事例集への掲載、政府施策紹介資料への掲載など)に使用することができますので、あらかじめ御了承ください(個人名については公表、使用はいたしません。)
 - ③ 提出いただいた応募用紙等については返却いたしませんので、あらかじめ御了承ください。
 - ④ 12に✓を御記入いただいた場合、御連絡先情報を農水省内関係部局に共有させていただく場合がございます。